

令和元年度 第1回東京都保険者協議会データ分析部会 会議要旨
委員定数 11名

1 開催日時 令和元年6月21日 午前9時58分～午前11時42分

2 開催会場 東京区政会館16階会議室

3 出席者 【10名】

東京都担当部署	1名
全国健康保険協会東京支部代表	2名
健康保険組合代表	3名
国民健康保険の区市町村代表	2名
共済組合代表	1名
後期高齢者医療広域連合代表	1名

4 会議次第

○開 会

○議 題

- (1) 平成30年度 東京都保険者協議会データ分析部会事業報告
- (2) 令和元年度 東京都保険者協議会データ分析部会の取組について
- (3) 令和元年度 データ分析に関する研修会について
- (4) 東京都の健康・医療情報にかかるデータ分析事業報告書について
- (5) その他

5 会議要旨

(事務局)

議題(1)「平成30年度東京都保険者協議会データ分析部会事業報告」

【資料1】を用いて説明

(部会長)

取組事例の発表会は好事例の横展開という観点から盛会裏に終了した。

(事務局)

議題(2)「令和元年度 東京都保険者協議会データ分析部会の取組について」

【資料2、資料3】を用いて説明

(部会長)

令和元年度の事業計画及び実施計画に向けて、本部会に関する研修会を行うためのテーマを検討したい。

(事務局)

議題(3)「令和元年度 データ分析に関する研修会について」

【資料4-1～資料4-3】を用いて説明

(部会長)

具体的な研修のテーマをどうするとか、講師についてはどうするという一定の方向をこの会で決めていただきたい。まず事前の意見提出された委員から説明いただきたい。

(全国健康保険協会東京支部を代表する委員)

データ分析をする際に統計学の基礎知識が必要ではないか。

また、他の医療保険者の具体的な事例の紹介やデータヘルス計画、アウトカム指標の具体的な設定方法などを講義いただきたい。

(共済組合を代表する委員)

津下先生は「最近の国の各種検討会等における議論について」の講義として提案した。

辻本先生は「健康運動指導士の方による保健指導など運動を活用したアプローチについて」の講義として提案した。

(健康保険組合を代表する委員)

「健診データとレセプトデータの突合分析方法、分析結果の整理と見せ方」ということでテーマを挙げた。また、ナッジ理論を受診率向上に生かせるような講義を聞けたら、受診率の向上につながるのではないか。

(国民健康保険の区市町村を代表する委員)

まず保険者の課題は何があるのか、何の分析が必要なのかというところから説明いただく研修が望ましいのではないか。

(部会長)

今の説明及び3月の研修会の参加者から出たテーマも踏まえ、どういう方向性で研修会を行うか議論いただきたい。人材育成のための研修を行うためにレベルアップや情報・知識・手法などのテーマを考えてはどうか。その辺を意見交換していただきたい。

(共済組合を代表する委員)

基礎知識的な部分やアウトカム指標の設定。また、PDCAサイクルをどのように回して具体的な事業につなげていくのか、そういった総合的な講義であれば人材育成に繋がる。

また、保険者の分析結果をもとに講師の先生とやりとりをしながら実践的な話も含めて行うのも良いのではないかと。

(健康保険組合を代表する委員)

人材育成で難しいのはどこをターゲットにするのか。

また、PDCAサイクルが、データ分析となるとPDとCAが分断され、サイクルが回っていない。DからCへ円滑にサイクルが回るようクローズアップされた内容はどうか。

あと、データといえばAI。その辺の動向も見ておく必要があるのではないかと。

(部会長)

PDCAサイクルで何をどう変えていくか。データ分析など従事している方もしくは、それをもとに仕事をしている方をターゲットにし、現在出た2名の先生を候補にしてはどうか。

(東京都担当部署を代表する副部会長)

国立保健医療科学院の横山先生は、NDBのデータ分析について国でもいろいろ研究されている先生と認識している。医療費適正化計画を取り巻く医療費の分析に関して、横山先生に一度お願いしてみてもどうか。

(全国健康保険協会東京支部を代表する副部会長)

総論的なところで講師の先生のお話を聞くというのが入り口であり、繰り返し毎年のテーマである。

(国民健康保険の区市町村を代表する委員)

データ分析を自治体として取り扱うときに何ができるか明確でないと手を出せないでいる状態がずっと続いている。今回のテーマの人材育成は区として重要だと思っている。

(国民健康保険の区市町村を代表する委員)

理想は年に3回ぐらい開催すると良いと思う。

(共済組合を代表する委員)

PDCAがテーマの中心ということ、それが多分データヘルスの全体像と思う。

(東京都後期高齢者医療広域連合を代表する委員)

P D C Aのサイクルの回し方は取り上げてほしいテーマであり、具体例もだしていただけるとありがたい。

(健康保険組合を代表する委員)

サイクルが回るかどうかを核にして、全体の分析の流れを話していただける内容がいい。

(健康保険組合を代表する委員)

やはりP D C Aをどう回していくか。また、そこからどのような事業につなげていくか、改善していくか。そういったところが日ごろの業務をされて、一番課題ではないか。

(全国健康保険協会東京支部を代表する委員)

1 保険者の事例を紹介し、各保険者で持ち帰って応用することができるか。担当者レベルで具体的にどうすればいいかなどを、各保険者の担当者に入れられたらと思う。

(部会長)

以上の意見を踏まえ、テーマについては、現場の声に応える観点からP D C Aといったところを取り上げていただき、先生が持っているいろいろな事例を前提に現場の人の役に立つようなテーマでお話いただくように、第1候補を横山先生に調整いただき事務局準備を進めさせていただきたい。

(東京都担当部署を代表する副部会長)

議題(4)「東京都の健康・医療情報にかかるデータ分析事業報告書について」

【資料5】を用いて説明

(部会長)

今度K D Bを使って東京都の国保加入者のデータ分析をやっていくことにしたということで、内容の説明をいただいた。

(事務局)

「日本健康会議の2019年度における保険者協議会の達成要件（宣言3関係）について」

【資料6】を用いて説明

(部会長)

以上で本日の議事は全て終了とする。

閉 会